

2023年11月12日

「信仰か、固執か」

歳を重ねるほど内面が豊かになっていく人がいる一方で、乏しくなっていく人もいます。経験値が高くなるほど、自分と人と世を理解する幅が広まっていく人は平和をつくることができますが、同じ経験をしても自己中心的に反応する人は争いの源となります。

さて、このような現象は、クリスチャンにも現れます。自分では信仰だと思っていることが、自分の固執(こだわり)である場合もあるのです。

聖書でいう信仰は、自分以外の人格、つまりイエス様により頼むことです。その反面、固執は自分の人格の中に信仰を置くことです。

信仰はイエス様に自分の考えと意思を委ねることであり、固執は、自分の考えと意思を守るためにイエス様を利用することです。信仰は強くなるほど自分を否定しますが、固執は自己中心性を強くします。

最初のうちは信仰と固執を見分けることは容易ではありません。外に現れる現象が似ているからです。どちらの場合も、苦難と困難の中であきらめず、忍耐と犠牲を惜しみません。

しかし、時間が経つと全く異なる実を結ぶこととなります。時間が経つほど、信仰は平和の中で変化していきますが、固執は争いと分裂の中で固着化します。

信仰は多くの人を真理に導きますが、固着は多くの人を真理から離れさせます。今日のあなたの人生の原理は、信仰でしょうか、それとも固執でしょうか。

月刊誌 リビングライフより

週報

§ 今年の教会テーマ 「恵みあふれる教会」

§ 今年の主題聖句
「私たちはみな、この方の満ち満ちた豊かさの中から、恵みの上にさらに恵みを受けた。」ヨハネ1章16節

〒513-0035 鈴鹿市矢橋町 471-2
宗教法人 日本ネクスト・タウンズ・クルセード
鈴鹿キリスト福音教会
059-383-5145(教会)

本日の礼拝メッセージ
「理想的クリスチャン夫婦、アキラとプリスカ」
聖書箇所 使徒 18:1~3、18、24~26
ロマ 16:3~4、Iコリント 16:19

人生における祝福の中でも、主イエス様との出会いにまさる祝福はありません。どれほど多くの人がイエス様と出会ったことによってその人生が変えられたことでしょうか。

「誰でもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました」IIコリント 5:17

さらに、主のものとされた私たちに、神様は時に思いがけない人との「特別な出会い」を用意して下さることもあります。パウロにとってコリントにおいてのアキラとプリスカとの出会いはまさにそのようなものであったということができると思います。

このアキラとプリスカほど魅力的な夫婦を他に新約聖書の中に見つけることはできません。このふたりは以前はローマに住んでいたのですが、ローマ皇帝の命令で、ユダヤ人がローマから追放されたとき、コリントにやって来ました。そして、そこでパウロと出会うことになったのですが、それも主の計画の中でなされた恵みのみわざであったと思います。

アテネを去ってコリントに来た時のパウロは「弱く恐れていました」が、この夫婦に出会って、彼らと親しい交わりを交わす中で、彼の霊は元気づけられ、本来の姿に回復されていきました。偉大な伝道者パウロに、それほどの影響を与えたアキラとプリスカ夫婦の信仰はどのようなものであったのでしょうか。

1. 献身的な信仰者であった

ロマ 16:3-4 キリスト・イエスにある私の同労者、プリスカとアキラによろしく伝えてください。4 二人は、私のいのちを救うために自分のいのちを危険にさらしてくれました。

2. 聖書をよく理解していた人であった
使徒 18:25-26 「それを聞いたプリスキラとアキラは、彼をわきにかけて、神の道をもっと正確に説明した。」
3. 主の導きに従う柔軟性を持った人たちでした
彼らはローマからコリントに、そしてパウロと共にエペソに行き、エペソからまたローマに戻って行きました。彼らはどこまでも主の導きに従うことをためらわなかった人たちでした。
4. 彼らは謙遜なスピリットの持ち主であった
*使徒 18:26
学者アポロが、信徒である二人から聖書の教えを受けたわけですが、それは二人の謙遜さにアポロの心が動かされ、信徒であるふたりからの教えを受け入れることを得させたと思われまます。

毎日の信仰告白

「恐れるな、喜べ。もっと喜べ、
今最高に喜べ、感謝せよ、主にあつて
主イエス様を信じる私に、今日も良いことがあります
主イエス様を信じる私に、今日も美しいことが始まります
神は善にして善を行なわれまます
マイナスはプラスに 不可能は可能に
全て相働いて益とされまます
わたしは恐れ退いて滅びる者ではありません
信じていのちを保つ者です
私と私の家族はみな救われます。ハレルヤ」